

父親の意識に関する基礎的研究(2)

— 父親像と子ども像との関連性について —

分担研究者 川 井 尚*
研究協力者 斎 藤 晃**

要約：父親，及び子どもに関する理想像・現実像が調査された。その結果，子どもの成長に伴ってしつけを考慮した子ども像が形成され，父親の役割意識も変化することが示された。

見出し語：父親像，子ども像，子育て，役割意識

【目的】

父親がどのような自己意識を持ち，子育てに関わろうとしているのかを「理想的・現実的父親像」と「理想的・現実的子ども像」という視点から調査，分析する。

【方法】

神奈川県川崎市内の民間保育園に子どもを通園させている338世帯の父親にアンケート調査を行なった。調査項目は父親が抱く理想的父親像・現実的父親像，及び理想的子ども像・現実的子ども像に大別される。理想像は理想の程度を，現実像は現実にとどの程度行なっているのかが5段階評定尺度法で評定された。父親像，及び子ども像の項目数はそれぞれ31，15で

ある（項目内容については表3を参照）。

【結果と考察】

回収できた調査用紙は234通で回収率は69.2%，有効回答数は191通であった。平均年齢は父親36.4歳，母親33.8歳，平均結婚経過年数は8.3年，子どもの数は平均2.0人であった。また191世帯中163世帯が核家族であった。

1. 「理想的父親像」と「理想的子ども像」との関連性

まず，父親が抱く理想的父親像と理想的子ども像との相関係数を算出した。その中で比較的相関の高い項目を表1に挙げる。

人がある特定の対象にイメージ（像）を形成

する場合、自分自身の自己像に影響を受けることが多い。同様に、父親が自分の子どもに対して抱く理想像・現実像も、父親自身の自己像に影響を受けることが推測される。

例えば表1の①・③・④等の自己像(理想像)は、類似した子ども像と比較的高い相関を示している(5教育熱心⇔36一生懸命に勉強, 21子どもの自主性を尊重する⇔41善悪の判断力を持つ)。これによって父親は、自己像と類似した役割を子どもに期待していることが推測される。

また、②・⑤・⑥に示された項目には自分(父親)が中心に存在していきたい、あるいは他者をコントロールしたい、という欲求の存在が示唆されている。事実、これらの項目と相関を示しているのはいずれも「33 子どもは素直」であり、父親の欲求を満たすのに具合の良い属性である。このように、ある父親にはあるパターンの人間関係を望む欲求体系が存在しており、これを基にして理想的な子ども像を形成していると考えられる。

しかしながら子どもとの相互交渉、すなわち子育ての経験を通じて、父親は次第に現実像を形成していくことになる。

2. 「現実的父親像」と「現実的子ども像」との関連性

「現実的父親像」と「現実的子ども像」との相関の中で比較的相関係数の高い項目を表2に挙げる。これを概観すると、現実には子育てをしている経験が反映されていることが理解される。

まず、①～⑦に示したように、子どもに関する項目の中で「子どもは素直、父親を尊敬する」

等と関連するものに比較的高い相関が見られ、理想像と同様の傾向が示された。

また、理想像と比較すると現実像では⑥・⑦のようなしつけに関する項目が増加している。これは子どもの成長の結果、そして子どもとの相互交渉の結果、道徳的な価値判断を含むしつけに直面せざるを得ない父親の存在が良く表れていると考えられよう。

これに関連して、しつけの経験と父親の理想像、現実像とがどのように関連しているのかを次に考えたい。

3. 結婚年数、子ども数の典型者群による有意差

以上に述べてきた理想像と現実像との関連性、及び差異点はどのような要因と関連しているのだろうか。これを検討するために「父親年齢、母親年齢、結婚年数、子ども数、長子の年齢」と各項目との相関を算出した。その結果、「結婚年数」、及び「子ども数」とある程度の相関を示す項目が見られたので、この2項目に関して以下の分析を行なった。

「結婚年数」(平均8.3年)、及び「子ども数」(平均2.0人)について、平均値付近の値を示す被験者を除いて典型者群を抽出した。すなわち、結婚年数6年未満(平均3.7年)で子ども数1人を「短期・少子群」(30人)とし、結婚年数10年以上(平均14.3年)で子ども数3人以上を「長期・多子群」(27人)と命名した。各群別に全項目の平均値、及び各群間の平均値の有意差を求め(t検定)、表3に示した。各群はそれぞれ子育ての経験が少ない典型群、

多い典型群であると考えられる。

その結果、平均値はほとんどの項目で理想像よりも現実像の方が低かった。父親は理想と現実とを明確に区別して考えていることを示している。そして多くの場合、理想像と現実像に共通して「短期・少子群」よりも「長期・多子群」の方が高い平均値を示した。

1) 父親像

理想像としては、「4愛情深い」と同時に、「3強い、6仕事熱心、7権威、8頼りがいがある」等の項目が高い得点を示した。これは「強く、しっかりした父親」というイメージであり、現実像でも同様な傾向が示されている。

また、「9父親は子どものモデル」において「短期・少子群」よりも「長期・多子群」の方が高い数値を示した。一方、「15子どもと良く遊ぶ」においては理想像、現実像共に「短期・少子群」よりも「長期・多子群」の方が低い数値を示した。これは子どもの成長に伴って、子どもと遊ぶことよりも「しつけ」を重視するようになり、子どものモデルとしての自覚が高まるからだと考えられる。

2) 子ども像

理想像として「32屋外で元気良く遊ぶ、33素直、44積極的」等の項目に代表されるように、「明るく元気な」というイメージの項目が高い得点を示している。そして、現実像ではこれに加えて、「41善悪の判断力、45隠し事をしてはいけない」等の道徳的な項目も高い得点を示している。

有意差が見られた項目(37,41,45)は全て道徳的な価値観を含むものである。これは父親像

でも見られたように、子どもの年齢が増大するにつれて、そして同時に子育ての経験を積むにつれて、道徳的な(しつけに関連した)ことを子どもに期待するようになることを示している。

【今後の展望】

子どもの成長に伴って、しつけを考慮した子ども像が形成されることが示された。また、父親自身の自己像と子ども像との間に関連性があることが示唆された。この結果を踏まえた上で今後は、父親自身の自己像をさらに詳細に追求し、どのような欲求体系を持つ父親がどのような子ども像を形成し、どのような子育てを行っているのかを確認することが必要であろう。

【文献】

川井尚・斎藤晃 1991 父親の意識に関する基礎的研究(1) 厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」平成2年度研究報告書 pp.168-174.

【謝辞】

神奈川県川崎市内のC保育園、I保育園、S保育園、そして父親の皆様にご協力いただきました。ここに記して感謝の意を表します。

表1 「理想的父親像」と「理想的子ども像」との関連性

項	目	相関係数
①	5父親は教育熱心 -----36子どもは一生懸命に勉強する	.474 ***
②	7父親は権威を持つ -----33子どもは素直である	.347 ***
③	9父親は子どものモデルである ----45子どもは隠し事をしてはいけない	.379 ***
④	21父親は子どもの自主性を尊重する --41子どもは善悪の判断力を持つ	.373 ***
⑤	26妻は夫を尊敬する -----33子どもは素直である	.347 ***
	37子どもは父親を尊敬する	.433 ***
	42子どもは男(女)らしくある	.359 ***
⑥	27妻は夫に従う -----33子どもは素直である	.323 ***
	42子どもは男(女)らしくある	.341 ***

(注) *** p<.001

表2 「現実的父親像」と「現実的子ども像」との関連性

項	目	相関係数
①	3父親は強い -----35子どもは家の手伝いをする	.348 ***
	37子どもは父親を尊敬する	.354 ***
②	4父親は愛情深い -----37子どもは父親を尊敬する	.432 ***
	38子どもは父親に甘える	.425 ***
③	5父親は教育熱心である -----33子どもは素直である	.397 ***
	40子どもは責任感を持つ	.353 ***
④	7父親は権威を持つ -----37子どもは父親を尊敬する	.407 ***
⑤	8父親は頼りがいがある -----33子どもは素直である	.429 ***
⑥	9父親は子どものモデルである ----33子どもは素直である	.370 ***
	37子どもは父親を尊敬する	.426 ***
	40子どもは責任感を持つ	.357 ***
⑦	10父親はしつけに関して確固たる態度 を持つ -----33子どもは素直である	.390 ***
	35子どもは家の手伝いをする	.364 ***
	37子どもは父親を尊敬する	.344 ***

(注) *** p<.001

表3 典型者群（短期・少子群／長期・多子群）の平均値、及び理想像内・現実像内の有意性

項 目	理 想 像			現 実 像		
	短期少子	長期多子	有意性	短期少子	長期多子	有意性
1 父親は真面目である	3.80	3.93		3.90	4.07	
2 父親はユーモアのセンスを持つ	4.33	4.52		3.87	4.07	
3 父親は強い	4.40	4.59		3.67	3.78	
4 父親は愛情深い	4.63	4.85		4.23	4.48	
5 父親は教育熱心である	3.70	3.74		3.23	3.48	
6 父親は仕事熱心である	4.23	4.67	*	4.13	4.59	*
7 父親は権威を持つ	4.23	4.37		3.63	3.78	
8 父親は頼りがいがある	4.77	4.89		3.83	4.07	
9 父親は子どものモデルである	3.57	4.30	**	3.03	3.62	*
10 父親はしつけに関して確固たる態度を持つ	4.27	4.41		3.77	4.00	
11 父親は子どもの好きな食べ物を知っている	3.93	3.93		3.80	3.74	
12 父親は時には子どもを強くしかる	4.69	4.56		4.10	4.41	*
13 父親は時には子どもに体罰を加える	3.60	3.56		3.37	3.78	
14 父親は子どもの世話（食事・排拙・風呂など）を良くする	4.03	3.78		3.90	3.81	
15 父親は子どもと良く遊ぶ	4.69	4.19	*	4.17	3.85	
16 父親は子育てにおいて重要な役割を果たす	4.43	4.46		4.00	3.81	
17 父親は人生の全てを子育てに捧げる	2.47	2.59		2.87	3.07	
18 父親は子どもを良く誉める	4.21	4.04		3.90	3.96	
19 父親は子どもを厳しくしつける	3.63	3.74		3.47	3.67	
20 父親は子どもと友人のような関係である	2.97	2.93		3.17	3.33	
21 父親は子どもの自主性を尊重する	4.37	4.56		4.10	3.93	
22 父親は家庭をいつも明るくするよう努力する	4.23	4.30		3.73	3.96	
23 父親にとって家庭は最後のよりどころである	3.97	3.93		3.87	3.67	
24 父親はいったん夫婦になった以上はどんなことがあっても離婚しないよう努力する	4.23	4.15		4.17	4.07	
25 夫は妻を尊敬する	4.53	4.41		4.00	3.85	
26 妻は夫を尊敬する	4.57	4.26		3.87	3.82	
27 妻は夫に従う	3.59	3.52		3.30	3.30	
28 しつけに関しては母親よりも父親の意見が優先する	2.97	3.26		2.76	2.96	
29 男の子は父親が、女の子は母親がしつける	2.53	2.52		2.70	2.78	
30 しつけは家庭でなくても十分にできる	2.60	2.11		2.93	3.39	
31 男は結婚して初めて一人前になる	2.67	2.96		2.80	3.25	
32 子どもは屋外で元気良く遊ぶ	4.87	4.89		4.00	4.00	
33 子どもは素直である	4.73	4.67		4.07	4.11	
34 子どもは早寝早起きをする	4.67	4.59		3.10	3.22	
35 子どもは家の手伝いをする	4.43	4.41		3.70	3.33	
36 子どもは一生懸命に勉強する	3.97	4.37		3.50	3.52	
37 子どもは父親を尊敬する	4.20	4.52		3.17	3.93	**
38 子どもは父親に甘える	3.77	4.11		3.73	3.93	
39 子どもは自立的である	4.20	4.15		3.30	3.33	
40 子どもは責任感を持つ	4.07	4.44		3.07	3.31	
41 子どもは善悪の判断力を持つ	4.37	4.63		3.37	3.96	**
42 子どもは男（女）らしくある	4.03	3.67		3.60	3.46	
43 子どもは兄弟・友だちに対して優しい	4.50	4.41		3.70	3.81	
44 子どもは物事に対して積極的である	4.73	4.67		3.87	3.54	
45 子どもは隠し事をしてはいけない	3.93	4.41		3.37	4.23	***
46 子どもはケンカをしてはいけない	2.33	2.48		3.13	3.15	

(注1) 項目30, 31, 45, 46を除いて各文末に「が望ましい」を付加する

(注2) * p<.05 ** p<.01 *** p<.001



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:父親,及び子どもに関する理想像・現実像が調査された。その結果,子どもの成長に伴ってしっけを考慮した子ども像が形成され,父親の役割意識も変化することが示された。